

## 会議結果報告書

1. 会議名 令和4年度 第2回 印西市環境推進市民会議
2. 日時 令和4年6月17日(金) 9:30~11:30
3. 場所 市役所農業委員会会議室
4. 出席委員:岩井会長、白川委員、川井委員、小山委員、橋本委員、平林委員、福井委員、  
村形委員、山崎委員、山田委員、吉村委員、渡辺委員  
事務局:環境保全課 飯島課長、岡本課長補佐、海老原保全係長、清田主査補
5. 傍聴者 1名
6. 配布資料
  - ・資料1 他市の環境市民会議の活動事例
  - ・資料2 令和4年度企画提案型協働事業実施要領(抜粋)
7. 内容
  - (1) 開 会
  - (2) 会長挨拶
  - (3) 議 事
    - ①視察研修について  
—視察研修について事務局より説明—  
事務局:委員より事前に候補先についてご連絡いただいております、その件について説明をお願いする。  
委員:印西市以外の近隣のホテルに関する取り組みを知るため、1八千代市の蛍の里、2船橋市の蛍の里、3船橋芝山高校の活動を提案したい。12年前にも同じ内容で視察したことがあり、講演会を含めて1日でまわることができた。行政の働き方、団体活動の実態を今後の参考としたいと思っている。  
委員:私からも提案したい。一つ目が、印西市の環境の実態を知ること、別所や竜腹寺などホテルが自然発生している環境やクリーンセンターなども考えられると思うが、印西の環境を見て歩くことを提案したい。二つ目が、四街道にある「北総クルベジ」という団体で、バイオ炭作成による脱炭素の取組を実施している。里山保全により発生した竹や草、剪定枝などを墨にして農地に還元するという取組であり、J-クレジットが活用されている。印西市の重点的な取組1~3の全てにつながる取組であるため、参考にしたいと考えている。  
委員:印西市内に建設されているデータセンターについて、多量の電力を使うと聞いているが、環境負荷が大きいという点で、2050年カーボンニュートラルをどのように見込んでいるのか、方向性などを聞いてみたい。先ほど提案のあった、印西市の環境の実態を知るといったものの一つに組み込んでどうか。  
委員:例えば、グーグルはRE100加盟企業のため、自然由来電力を使うのではないかと。

委員：東京電力が変電所を建設しているため、100%自然由来ということにはならないのではないかと。

委員：以前自身が所属する団体でデータセンターの見学を申し込んだが、断られたという経緯がある。ただやはり興味はある。

会長：午前にはグリーンインフラに関連する箇所、午後にデータセンターで電力がどのように使われるかを視察するなどとしたらどうか。事務局の意見も聞きたい。

事務局：日本最大級のデータセンターの建設が相次ぐ中で、どのような対策が考えられるかなどについては東京電力と意見交換を行っている。ホテルの保全については、今年度モニタリング調査などを予算計上しているところであり、県道のバイパス道路建設の話もあることから、県と話し合いを進めていきたいと考えている。また、里山グリーンインフラについては、環境基本計画の重点的な取組にも位置付けられており、検討していきたいと考えている。

会長：データセンターの建設で印西市の電力需要がどれほど変わるのかを知りたい。事務局で、良さそうな箇所について相手の了解を取るなど調べていただきたいと思う。

事務局：相手方の都合など調べた上で、次回再度検討する時間を設けたいと思う。

## ②環境基本計画の推進について

ー環境基本計画の推進について事務局より説明ー

事務局：第1回目の会議で決まったグループ分けについて、欠席者の希望も踏まえ最終決定したことから、改めて報告する。

～グループ分けについて～

事務局：続いて、他市の市民会議としての取組事例について、資料1を用いて説明する。

～他市の取組事例について～

事務局：この後にグループごとに分かれて市民会議として実施可能な取組を検討していただきたいが、内容によっては、今年度実施できるもの、来年度以降となってしまうもの、グループのメンバーのみで実施可能なもの、会議全体で実施する必要があるもの様々であることが考えられるため、具体的な取組の案が出た後検討させていただきたい。

会長：それでは、休憩時間を挟んで、グループごとに取組を検討する時間とする。

ーグループごとに取組の検討ー

事務局：グループごとに出た案を発表していただきたい。グリーンインフラ（自然環境）のグループから順にお願いします。

委員：「グリーンインフラ」のグループでは、八王子市の事例にあるような「自然体験講座」を保全作業と組み合わせながら実施するなどの意見があった。J-クレジットの活用につながる取組も検討したい。

委員：「サステナブル」のグループでは、広報活動という意見が出ており、ポイ捨てなどに対する啓発を広報できたらと考えている。「環境カレンダー」など毎月様々な内容で広報できるような形はどうかという意見があった。

委員：「ストップ温暖化」のグループでは、節電要請に関する周知、2050年カーボンニュートラル宣言に向けて検討を進めて欲しいという意見があった。

事務局：グループごとの意見交換については次回の会議でも実施したいと考えている。

### ③その他

—企画提案型協働事業について事務局より説明—

委員：今の話から、アメリカザリガニの駆除などの取組も考えられると思った。

事務局：興味があれば、自由テーマ型で申込していただくことも可能となっている。

会長：他に意見がなければ、本日の議事は全て終了したため、事務局にお返す。

### (4)その他

—次回の会議開催予定、委員報酬について事務局より説明—

### (5)閉会

以上

令和4年度第2回印西市環境推進市民会議の会議録は事実と相違ないことを承認します。

令和4年8月17日

印西市環境推進市民会議 委員 吉村 仁